

稲田市長退任あいさつ



このたび、2月2日をもちまして、任期満了にともない市長の職を辞することと致しました。退任するにあたりまして、市民の皆様にごあいさつを申し上げます。

私は、平成17年2月に皆様からの温かいご支援を賜り小松島市長に就任して以来、2期8年にわたり、市政に携わり、市長という大任を賜り行政の舵を預らせていただきました。就任当初、本市の財政は危機的な状況にあり、財政再建のため「派手さはなくとも堅実な政治」、「市民の皆様の日々の暮らしと将来の世代に対して誠実な政治」を基本理念とし、8年間、全力で市政を進めてまいりました。

この間、取り組んでまいりました事業につきましては、財政上の制約から「安全・安心・信頼」に絞り込んだものとせざるを得ないこととなり、市民の皆様のご相談・ご要望に対し、十分に沿うことができず、また、もの足りなさをご指摘いただくこともございました。

こうした点につきまして、私自身、忸怩たる思いも抱えてまいりましたが、財政再建に道筋をつけ、市政の未来への歩みの足掛かりを築けましたことは、私なりに職責が果たせたものと思っております。これもひとえに市民の皆様のご理解・ご協力なくしてはあり得なかったことであり、市民の皆様には、ただただ感謝の思いでいっぱいでありたいと思います。

公職から退くことにより皆様と接する機会が減ることは、大変寂しい思いがいたしますが、寂しさを抱きながらも、皆様への感謝の思いを胸に、晴れやかな気持ちで、一市民へとかえっていき、今後は一市民として小松島市の発展を見守り、また、微力でございますが本市の発展のために尽力していきたいと思います。

結びに、市民の皆様のご健勝とご多幸を、愛してやまない小松島市の益々の発展を、そして、小松島市政の一層の飛躍を衷心よりご祈念申し上げまして、退任のあいさつとさせていただきます。

市民の皆様、8年間、本当にありがとうございました。